

平成24年度第3回（第8期第7回）浦安市廃棄物減量等推進審議会（議事要旨）

1 開催日時 平成24年11月30日（金）午後3時00分～午後5時00分

2 開催場所 消防庁舎3階大会議室

### 3 出席者

（委員）

下田会長、畑山副会長、野原委員、高橋委員、木村委員、大川委員、佐藤委員、市原委員、大谷委員、米山委員、荒井委員

（事務局）

長峰都市環境部長、大塚都市環境部次長、本田クリーンセンター長、熱海ごみゼロ課長、渋谷クリーン推進係長、高橋主任主事、瀬能尾主事

### 4 議 題

- （1）事業者アンケートの集計結果報告について
- （2）基本計画素案について
- （3）使用済小型電子機器回収の制度の概要について
- （4）その他

### 5 議事の概要

- （1）事務局よりそれぞれの項目について説明。各委員より意見、要望等を伺う。
- （2）事務局より今後のスケジュール等について説明。

## 6 会議経過

会長が議事を進行した。

事務局より、「事業者アンケートの集計結果報告について」説明を行い、委員による質疑を行った。主な質疑内容は次のとおり。

- ・委員 事業系ごみのマニュアルがあれば活用したいとの意見が多いようだが現状において作成していないのか。
- ・事務局 小規模排出事業者に対するものはあるが事業者全体に対するものは作成していない。
- ・委員 事業者の目安になるマニュアル等はあったほうが良い。松戸市が良い例である。古紙回収業者や先進的な取り組みを行っている事業所の紹介等をマニュアルに示し配布したら事業者も協力するようになるし、許可業者としてもそれをもとにPRしやすい。
- ・事務局 ご意見を参考にマニュアル作成の有無を検討していきたい。
- ・委員 回収率が47%程度となっているが、事業者のごみ問題に対してあまり関心がないといえるのではないか。そもそも回答を出していないことに問題があると感じる。どのような事業者が回答を出していないのか明確にできるのか。大きな事業所は回答しているのか。
- ・事務局 何処が出していないかは明確にできないが、関心がないことと関連付けてとらえることはできる。大きな事業所は概ね回答している。中小となると明確にはできない。
- ・会長 当初期待した回収率を満足しているのか。
- ・事務局 督促状を送るなどして60%の回収率を期待したが達成できなかった。

事務局より「基本計画素案について」説明を行い、委員による質疑を行った。  
なお、基本計画素案は2月中旬から3月初旬にかけてパブリックコメントを行う計画である旨を報告した。

主な質疑内容は次のとおり。

- ・委員 事業系ごみの対策を徹底する件で、現状においても行っているか。
- ・事務局 小規模排出事業者に対しては指導している。また、多量排出事業者に対しては、現状においても計画書の作成を求めたり、立ち入り検査等を行っている。クリーンセンターにおいても分別が徹底されていない場合は指導して改善を求めている。  
また、多量排出事業者の条件を見直して指導の範囲を広げる考えを持っている。ただ指導の基準を定めてからでないとマニュアル等も作れないので、それらを含めて検討する。
- ・委員 事業者の役割分担を示したところで、後段の取り組みとの関連、優先順位等が定まっているのか。(64ページと65ページ)
- ・事務局 主な取り組み内容を定めているが優先順位を定めてはいない。後段の取り組み項目の順番を考慮して並べ替えを行う。  
市民、行政に関しても同様である。
- ・委員 抜本的なごみの減量化を考えると、ごみの有料化に関して方針を明確にしていく必要があると考える。千葉市では導入を決めており、市川市でも検討を行っている。
- ・事務局 有料化に関しては議論していくべき取り組みである。素案に示してあるが、より前向きな方向となるよう再検討する。指定袋を導入したことは減量化の促進ととらえることができる。一定の効果もあった。
- ・委員 指定袋になったことを有料化の一環としてとらえる市民が多い。

収集費用として活かされると聞いている。

- ・事務局 収集費用にはなっていない。分別を徹底すること、ごみを減らすことを目的として導入したものである。
- ・委員 千葉市においてどの程度ごみが減るのか試算した資料等はあるのか。
- ・事務局 現状においては持ち合わせていない。
- ・委員 有料化をすると不法投棄が増えることが懸念され、一概に有料化が良いとは言えない。
- ・事務局 まさに有料化の効果について調査・研究していかなければならない。  
クリーンセンターの延命化の観点からも、ごみを減らし負荷を低減することが重要である。
- ・委員 有料化の導入にあたっては、クリーンセンターの延命化、経費削減などの理由を明確にして市民の協力が得られるようPRしていく必要がある。
- ・事務局 有料化は大きな刺激・啓発にはなる。計画への記載方法に関しては再検討したい。
- ・会長 有料化については制度の設計内容次第で効果が変わる。先進地の効果の検証を踏まえ十分な検討が必要である。
- ・委員 計画素案に関しては既存計画よりも興味を持って見られる内容となった。
- ・委員 現状の取り組みの評価結果を踏まえた課題を明確にして、目標達成に向けた取り組みとの関連性を記述すれば分かりやすくなる。また、○×

△の評価の凡例を示すべきと考える。(49～51 ページ)

- ・事務局 ご意見を踏まえ再検討する。
- ・会長 内容を確認して頂いて意見があればお願いしたい。
- ・事務局 12月17日(月)までに意見をいただきたい。

事務局より「小型家電リサイクル法について」説明を行い、委員による質疑を行った。

主な質疑内容は次のとおり。

- ・委員 実施時期はいつごろの予定か。
- ・事務局 現状においては具体的な年度を明確にできない。実施に向け前向きに検討している。

事務局より、「今後のスケジュールについて」(1月の実施を考えている)説明を行い、終了となった。